



昨年の夏からアイルランドへ留学していた高校3年生池内海斗君が1年間の留学を終えて6月11日から復学しました。現在は受験生として受験勉強に追われる日々ですが、アイルランドで過ごした日々についてレポートを寄せてもらいました。今後長期留学を検討している生徒諸君も多いと思います。ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

アイルランド留学レポート

高校3年3組 池内 海斗

昨年の8月から10か月間、アイルランドに留学していた現高3の池内です。そもそもといえば、高1に入る前の春休みに2週間の短期留学をして、いろいろな国の人と話すのって楽しいなと思ったのがきっかけで留学しました。学校で行けるやつに落ちてしまった副作用といえるかもしれません(笑)。

さて、みなさん、アイルランドと聞くとどんなものを思い浮かべますか？スポーツが好きな人はラグビーを思い浮かべるかもしれませんし、親御さんに聞けばビールやウィスキーと答えるかもしれませんね。でも、これといったイメージを持っている人は少ないのではないのでしょうか。僕が留学に行く前に(今もですが)よく「え？どこ？アイスランド？」と言われたものです。人口500万人に満たない小さい国で、歴史的、地理的にもイギリスの陰に隠れてしまいがちですが、そんな国の魅力を、愛を持って伝えていきたいと思います。

アイルランドに行くと、まず気が付くのはすべての看板に2つの言語で表記がされていることでしょう。1つは英語で、もう1つはケルト系のアイルランド語(Gaeilge)です。日本だとたまにゲームやアニメで使われることもありますが、アイルランドではすべての地域で標識に、一部の地域では日常的に使われています。僕の友達の中には、すべての授業をアイルランド語で行う学校に行っているという人もいました。もちろん、留学生がこうした学校に送られることはないので安心してください。ただ、英語以外の言語にも目を向けるいいきっかけにもなりますし、アイルランドなまりの英語に、発音など、かなりの影響を与えていると思います。この類の訛はイングランドやアメリカではあまり出会う機会がないのではないのでしょうか。

先ほども少し話題にあげましたが、アイルランドのスポーツというと、やはりラグビーが有名ですが、アイルランドはスポーツが盛んでサッカーやラグビー、さらにはアイルランド発祥のゲリックフットボールやハーリングなどのスポーツが人気です。このフットボールはラグビーとサッカーを合わせたもの、ハーリングはホッケーに近いとよく言われます。僕は、後半の半年ほどこのフットボールをプレイしていたのですが、そのチーム101年の歴史で初めての日本人ということで地元の新聞に大きく載ってしまいました。そして今では一番好きなスポーツです。

また、アイルランド人は基本親切で陽気な人が多いです。みんなよくしゃべります。僕は、毎週行っていたプールやフットボールのおかげでかなり多くの知り合いができました。また、子供たちが外で遊ぶので、近くに住む子たちとも割とすぐに仲良くなれます。よく放課後にサッカーやバスケットボールをしてあそんだものです。

さらに、これは留学に行きたい人に朗報ですが、アイルランドの教育レベルは非常に高いといわれているので、向こうに行ってからもしっかり勉強したい人にはとてもいいと思います。僕は向こ

うの学期に2回ある試験、そして学年末の総復習テスト的なものでハイスコアをとるのに苦戦しました…特に日本人にはなじみのない英語(国語)や Agric science(農業科学)は予備知識のなさから苦戦しました。

その他にも素晴らしい海岸地形や古城、音楽など素晴らしいところはたくさんあります。とくに南西にあるケリー州というところには自然公園や素晴らしい海岸、ビーチ、城、イルカに加えて映画「スターウォーズ」に出てきた修道院まであります。一度行けば好きになる、そんな国です。留学で長くいたほうが魅力は伝わるとは思います、旅行にもおすすめです。



モハーの断崖の美しい景色



僕がゲーリックフットボールをしているところ。手を使いますが、アメリカンよりも足が重要です。

英語エッセイ、英語スピーチ大会情報

① 高校生英語エッセイコンテスト（主催：関西学院大学、読売新聞、ジャパンニュース）

対象：原則英語を母国語としない高校生

メインテーマ：「考えてみよう。世界のこと、日本のこと」

語数：英文300～400 words 程度のエッセイとしてまとめる。

校内提出締め切り：9月1日（土）

入選発表：12月

応募希望生徒は夏休み前にグローバル教育部（3号館1階）まで来て下さい。専用の応募用紙を差し上げます。

② 第70回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会（主催：読売新聞、JNSA基金）

対象：中学生（但し、以下に該当する場合には応募できません）

(a) 満5歳の誕生日以降に通算1年以上または継続して英語圏に居住した生徒。

(b) 日本国内外を問わず英語以外の教科に関し、英語による教育を行っている学校（インターナショナルスクール等）に6カ月以上在籍したことのある生徒。

(c) 保護者または同居親族に英語を母語とする者、もしくは英語圏出身者がいる生徒。

東京都予選大会：10月6日（土） 赤坂区民ホール

決勝予選大会：11月28日（水）、29日（木） 赤坂区民ホール

決勝大会：11月30日（金） よみうりホール（有楽町）

校内締め切り：参加希望者は8月23日（木）（夏期講習第6ターム終了日）までに申込書をグローバル教育部まで提出。

応募希望生徒は夏休み前にグローバル教育部（3号館1階）まで来て下さい。専用の応募用紙を差し上げます。

③ 第41回全国ジュニア英語スピーチコンテスト（主催：日本LL教育センター）

対象：幼児～中学生（中学生はレベル4のみ）

スケジュール：7月6日 課題文発表

応募期間：7月27日～9月21日

ファーストステージ（アプリによる録音審査）：8月10日～9月27日

セカンドステージ（動画提出）：10月12日～11月2日

会場審査：2019年1月20日（日） 浜離宮朝日小ホール

応募希望生徒は夏休み前にグローバル教育部（3号館1階）まで来て下さい。専用のチラシを差し上げます。

*金曜日はグローバル教育部に常駐する担当者が研究日で原則不在となりますのでご了承下さい。

④第4回京進英語エッセイコンテスト（主催：京進）

対象：英語を母語としない中学生・高校生

課題：次の1、2のどちらか又は両方

1 英語エッセイ部門 私にとっての『多様性』

海外だけでなく日本においても顕在化しつつある『多様性』に対し、あなたはどうか向き合いますか。英語で自由に表現してください。 350語～450語

2 英作文部門

和辻哲郎『京の四季より』

紅葉のなくなったあとの十二月から、新芽の出始める三月末までの間が、京都を取り巻く山々の静止する時期である。新緑から紅葉まで絶えず色の動きを見てみると、この静止が何とも言えず安らかで気持ちがよい。緑葉としては主として松の樹、あとは椎や檜のような常緑樹であるが、それらの落ちついた緑がなかなかいい。落葉樹の白っぽい、骨のような幹や枝が、この常緑と非常によく釣り合っている。色彩という点から言っても、この枯淡な色の釣り合いが最もよいかもしれない。

応募方法：各自で Web 又は郵送で提出

応募期間：2018年7月17日（火）～2018年9月25日（火）

※郵送の場合は、9月25日（火）必着

④については京進のHPで詳細を確認の上、応募も個人でさせていただきます。